

# 【市庁舎編】

このシートは、

2022

調査実施分

No.

128

2021

ファシリティコスト分

57,566 人

## 北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度

令和4年度

施設名	市庁舎				
-----	-----	--	--	--	--

大分類	行政系施設、子育て支援施設	中分類	庁舎等	施設番号	128
-----	---------------	-----	-----	------	-----

所管部課	総務課
------	-----

## 1 土地データ

所在地 (地区)	中央4丁目2番地1	敷地面積	16,106 m <sup>2</sup>
	( 東部 )	うち借地面積	- m <sup>2</sup>

## 2 建物データ

複合・併設施設	保健センター、地域子育て支援センター			建築年度	平成29年度
建物構造	S	延床面積	12,528 m <sup>2</sup>	経過年数	5年
階数(地上)	5階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	千円	法定耐用年数	38年	市民1人当たり更新コスト	円/人

## 3 管理運営データ

利用状況	R1年度	R2年度	R3年度	平均利用者数	管理形態			
		465人	489人	487人	480人	市直営		
ファシリティコスト 令和3年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)		内 訳		金額(千円)	
	収 入	利用料等		209	支 出	①施設維持コスト	修繕料	3,079
		国費		-		火災保険料	88	
		道費		-		維持管理委託料	79,829	
		その他		-		敷地借上料	-	
		市費(一般財源)		110,602		工事請負費	-	
	合 計			110,811	その他維持費	-	小 計	82,996
					②施設運営コスト	人件費	1,803	
					光熱水費	26,012		
					運営委託料	-		
その他運営費					-			
				小 計	27,815	合 計(①+②)	110,811	
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m <sup>2</sup> 当たり			
単位コスト	230,856 円/人		1,925 円/人		8,845 円/m <sup>2</sup>			

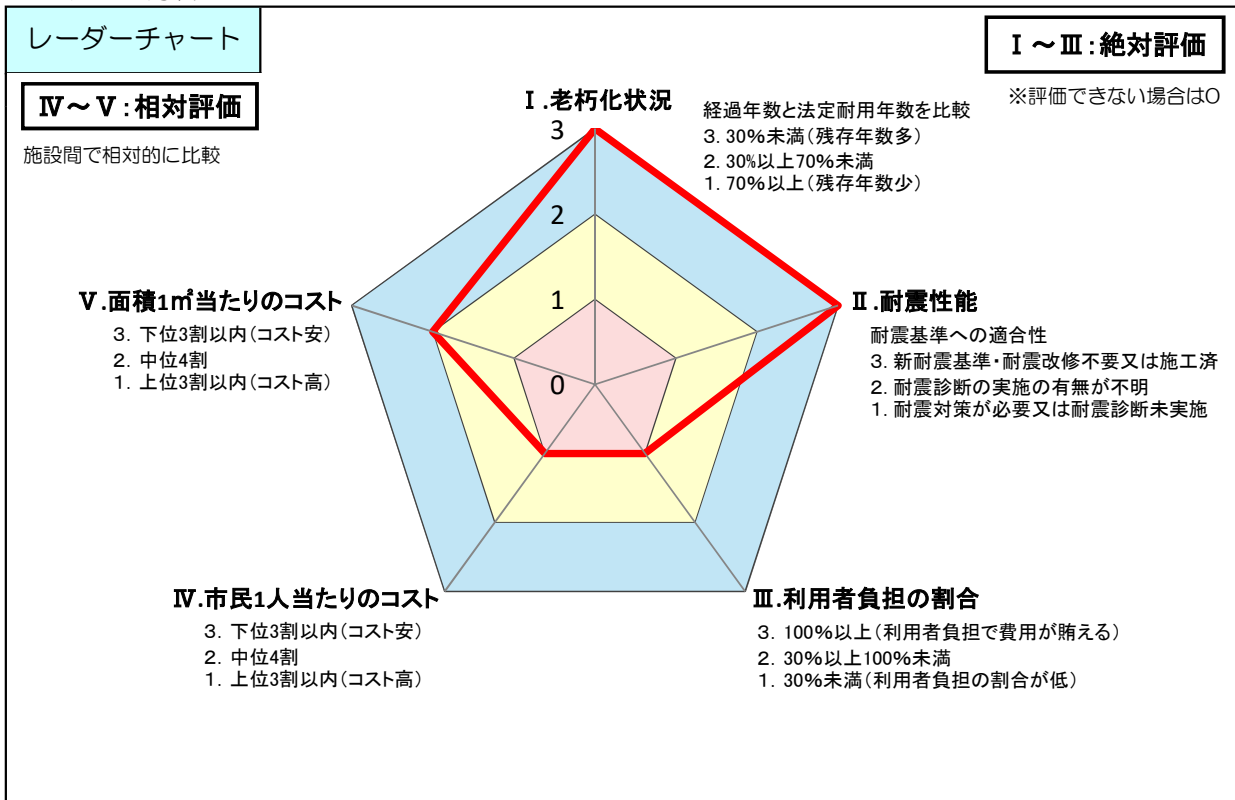
## 4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H29	各種案内サイン防災・庁舎建設課部分貼り替え	50	R1	シュレッダー修繕	50
H29	内線電話増設工事	19	R1~R3	庁舎トイレ・手洗等修繕	90
H29	庁舎5Fホールコンセント増設修繕	50	R1	庁舎1階壁修繕	88
H29~R3	レイアウト変更に伴う内線電話修繕	1,253	R1	北広島市庁舎5階厨房混合栓修繕	73
H29~R3	組織改編に伴うサインマップ等の修繕	1,634	R2	庁舎3階湯沸室混合栓修繕	18
H29~R3	調乳用温水器のフィルタ交換及びメンテナンス	219	R2	パッケージエアコン室内機械Vベルト修繕	23
R1	本庁舎駐車場散水栓修繕	15	R2	5階庇防水修繕工事	495
R1	庁舎会派パーティション修繕	97	R2	電熱式蒸気加湿器点検清掃修繕	41
R1	屋上笠木ヒーター交換及び避雷針補修工事	298	R2	福祉課手話マーク修繕	44
R1~R3	庁舎防犯カメラ修繕	924	R3~	その他庁舎設備等修繕	958

## 5 特記事項

R3以降の修繕履歴については、「その他庁舎設備等修繕」として、内線電話修繕、サインマップ修繕、調乳用温水器フィルター交換メンテナンス、防犯カメラ修繕及びトイレ手洗等修繕を除いた修繕の合計額を記載する。

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

<b>I. 老朽化状況</b>	<p>建物の老朽化を示す指標(%)                  建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示                  (経過年数÷法定耐用年数)                  数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	13 (%)
<b>II. 耐震性能</b>	<p>建物の耐震安全性を示す                  耐震性能の有無と対策の必要性を表示                  耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か                  対策実施済。</p>	耐震性能あり
<b>III. 利用者負担の割合</b>	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標                  利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト)                  数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。                  利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	0 (%)
<b>IV. 市民1人当たりのコスト</b>	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標                  支出合計÷人口                  数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	1,925 (円/㎡)
<b>V. 面積1㎡当たりのコスト</b>	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標                  支出合計÷延床面積                  数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	8,845 (円/㎡)

<b>総合評価</b>	<p>経過年数から老朽化していないと判断(I)。耐震性能を有している(II)。                  利用者負担の割合は低い(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。                  市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>
-------------	---

このシートは、

2022

調査実施分

No.

129

2021

ファシリティコスト分

57,566 人

## 北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度

令和4年度

施設名	市庁舎別館		
-----	-------	--	--

大分類	行政系施設	中分類	庁舎等	施設番号	129
-----	-------	-----	-----	------	-----

所管部課	総務課
------	-----

## 1 土地データ

所在地 (地区)	中央4丁目2番地1	敷地面積	16,106 m <sup>2</sup>
	( 東部 )	うち借地面積	- m <sup>2</sup>

## 2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	平成3年度
建物構造	S	延床面積	1,499 m <sup>2</sup>	経過年数	31年
階数(地上)	3階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	599,600千円	法定耐用年数	30年	市民1人当たり更新コスト	10,416円/人

## 3 管理運営データ

利用状況	R1年度	R2年度	R3年度	平均利用者数	管理形態				
	人	人	人	-人	市直営				
ファシリティコスト 令和3年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)		内 訳		金額(千円)		
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	修繕料	803	
		国費		-		火災保険料	29		
		道費		-		維持管理委託料	-		
		その他		-		敷地借上料	-		
		市費(一般財源)		1,590		工事請負費	-		
	合 計			1,590	その他維持費	-	小 計		832
					②施設運営コスト	人件費	-		
					光熱水費	758			
					運営委託料	-			
				その他運営費	-	小 計		758	
				合 計(①+②)				1,590	
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m <sup>2</sup> 当たり				
単位コスト	-円/人		28円/人		1,061円/m <sup>2</sup>				



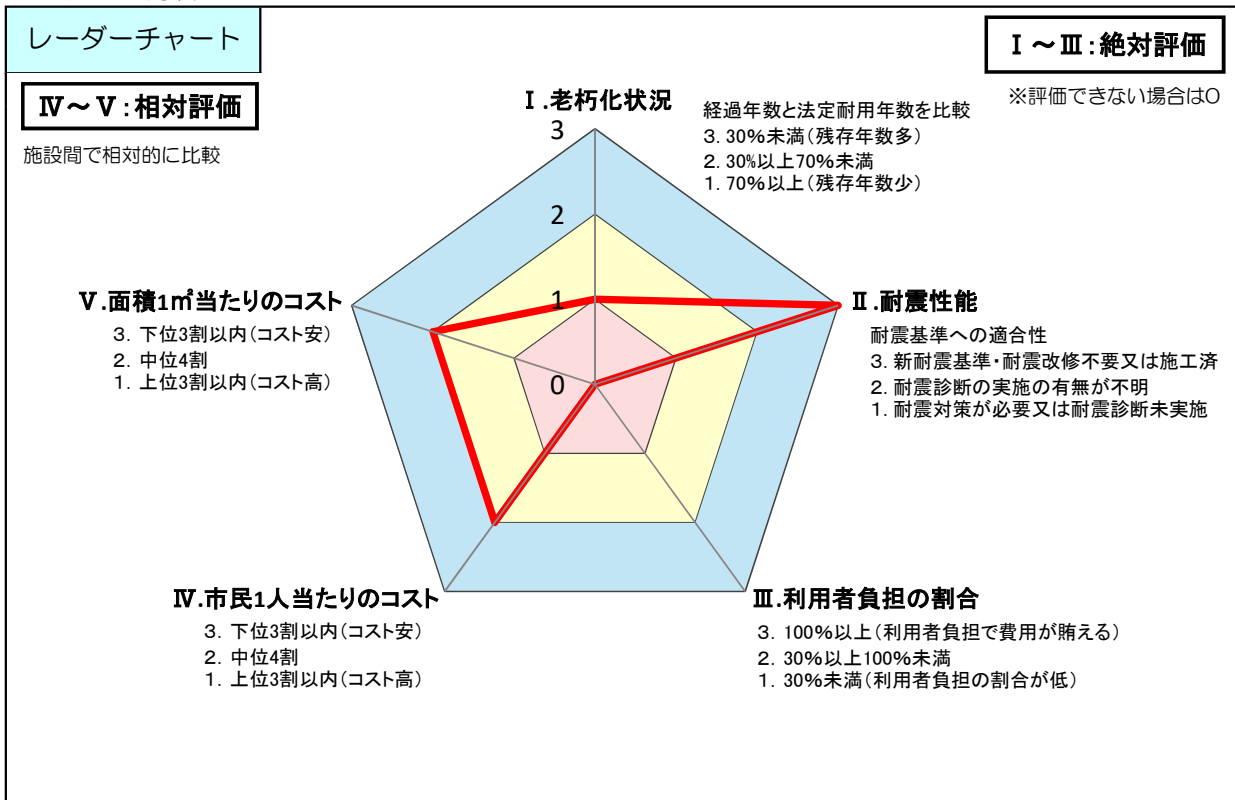
## 4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H19	玄関アプローチ修繕	207			
H19	電源修繕	110			
H23	会議室床修繕	146			
H25	誘導灯修繕	103			
H26	間仕切修繕	505			
R3	1階複合火災受信機交換修繕	803			

## 5 特記事項

H28維持管理委託料は、庁舎全体額、光熱水費は第3庁舎全体額から述べ床面積により按分した。

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

<b>I. 老朽化状況</b>	<p>建物の老朽化を示す指標(%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示              (経過年数÷法定耐用年数)              数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	103 (%)
<b>II. 耐震性能</b>	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示              耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か              対策実施済。</p>	耐震性能あり
<b>III. 利用者負担の割合</b>	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト)              数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。              利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
<b>IV. 市民1人当たりのコスト</b>	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷人口              数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	28 (円/㎡)
<b>V. 面積1㎡当たりのコスト</b>	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積              数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	1,061 (円/㎡)

<b>総合評価</b>	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。</p> <p>利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストは標準的(IV)。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>
-------------	---